

専修大学スポーツ研究所ビーチバレーサポート報告

吉田 清司 (法学部教授)、齋藤 実 (文学部教授)

川崎マリエンビーチバレーコート(川崎市川崎区東扇島)は、2011年にビーチバレーボールの選手強化を支援する「JOC認定バレーボール競技強化センター」に認定され、強化拠点として利用されてきた。国際バレーボール連盟のビーチバレーボール公式国際競技規則を満たすコート4面を有し、夜間照明設備も有している。2018年3月、文部科学省により国内唯一のビーチバレーボールの「ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設」(NTC競技別強化拠点施設)に指定され、強化指定選手等が、東京オリンピックでの活躍に向けて日々トレーニングや強化活動を実施している。本年度において、NTC競技別強化拠点施設としての機能を高めるべく、同市の機関である当研究所と連携の打診あり、連携協定を結び運びとなった。

連携協定締結式は、2019年6月4日に専修大学にて行われた。公益財団法人日本バレーボール協会との間に「各々の人的・知的資源の交流と物的資源の活用をはかり、相互の連携及び協力によりスポーツ医科学研究を進展させるとともに、その成果を広く活用することにより、ビーチバレーボールを主としたスポーツに関する競技水準の向上、スポーツを通じた川崎市を中心とした地域活性化を実現し、もってスポーツ文化の発展に寄与すること」を目的に、(1)スポーツ医科学研究の推進に関すること、(2)スポーツ及びスポーツ医科学研究に係る人材の育成・交流に関すること、(3)人的・知的資源及びスポーツ施設等の物的資源並びにスポーツ医科学研究の成果を活用した競技水準の向上、地域貢献活動に関することを連携内容として、締結がなされた(写真1、2)。締結後、日本バレーボール協会と協同し、次のようなサポートを実施したので報告する。

○2019.7.22 ビーチバレーボール第1回全体拠点機能強化協議会(吉田所員、齋藤所員)
NTC競技別強化拠点施設では、その機能を補完するため、近隣施設との連携を推進するエリアマネージャーが中心なり、拠点エリアが有する資源(人材・組織・施設・民間資金等)を有機的に連携させるためのコンソーシアムの開催が求められている。当研究所からは吉田所員、齋藤所員が参加した。

○2019.9.21.22 ビーチバレー トライアウト「体力測定」視察(渡辺所員)
スポーツ研究所では、ビーチバレーボールのトレーニング方法、技術分析、ゲーム分析、心理面、暑さ対策などのサポートを実施予定としている。2019年9月21・22日に開催されたトライアウトの一環として21日午後実施された体力測定の視察をおこなった(別途報告)。

○2019.11.21 スポーツ研究所シンポジウム(700名参加)でビーチバレーボールを広報
スポーツ研究所主催のシンポジウムにおいて、元インドアバレーボール日本代表・北京オリンピックオリンピック、ビーチバレーボール日本代表の石島雄介氏を講師に招いた。シンポジウムの様子は、毎日新聞、神奈川新聞などのメディアで取り上げられた。

○2019.11.27 ビーチバレーボール研修会での講師を担当(平田所員)
東京オリンピックを目指すビーチバレーボールの強化指定選手や日本代表スタッフらを対象としたメンタル講習会を担当した(写真3)。

○2020.1.9 個別メンタルサポートの開始(平田所員)
ビーチバレー選手の個別の依頼に対し、協会との調整の上、メンタルサポートを開始した。

2020.2.19日に2回目のメンタルサポートを実施した。

○2020.1.19 ビーチバレーボールのバイオメカニクスサポートに関する打ち合わせを実施(柏木所員)
ビーチバレーボールのバイオメカニクスサポートとして「砂上における跳躍動作の特徴」について紹介し、トレーニングへの応用について議論を行った。

○2020.2.26 ビーチバレーボール第1回全体拠点機能強化協議会(吉田所員、齋藤所員)
競技会において、当研究所のサポートの報告を行い、今後の打ち合わせを行った。

○見送り U19アジアジュニア選手権(2020.3)に向けた暑熱対策の実施
2020年3月にタイのブーケットで実施されるU19アジアジュニア選手権に向けた暑熱順化トレーニングをスポーツ研究所低酸素トレーニング室にて実施することを計画したが、施設の都合により実施は見送られた。

○予定 文学部ジャーナリズム学科学生インターンシップの実施
2020年度よりジャーナリズム、メディア系を専攻する学生によるインターンシップを予定



写真1



写真2



写真3